

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2004-26222 (P2004-26222A)
 【公開日】平成 16 年 1 月 29 日 (2004.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-004
 【出願番号】特願 2002-185086 (P2002-185086)
 【国際特許分類第 7 版】

B 6 5 D 53/00

B 3 2 B 27/28

B 3 2 B 27/32

B 3 2 B 27/36

B 6 5 D 65/40

B 6 5 D 77/20

【F I】

B 6 5 D 53/00 B R Q A

B 3 2 B 27/28 1 0 1

B 3 2 B 27/32 C

B 3 2 B 27/36

B 6 5 D 65/40 Z B P D

B 6 5 D 77/20 M

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 8 日 (2005.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外周縁に開封用タブを有し、容器開口部を密封するための積層体からなる蓋材であって、前記積層体は、最外層をポリエステル系フィルムとし、最内層をポリオレフィン系樹脂、エチレン酢酸ビニル共重合樹脂およびエチレンアクリル酸共重合樹脂よりなる群から選ばれた 1 以上の樹脂を主成分とする樹脂層とし、中間層を厚みが $10 \sim 40 \mu\text{m}$ であるポリ乳酸系フィルムとし、これらが積層されてなることを特徴とする蓋材。

【請求項 2】

ポリ乳酸系フィルムの少なくとも片面に、金属および／または金属酸化物からなる層を設けた請求項 1 に記載の蓋材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記課題を達成するために、本発明のポリ乳酸系フィルムを用いた蓋材は主として次の構成を有する。すなわち、

外周縁に開封用タブを有し、容器開口部を密封するための積層体からなる蓋材であって

、前記積層体は、最外層をポリエステル系フィルムとし、最内層をポリオレフィン系樹脂、エチレン酢酸ビニル共重合樹脂およびエチレンアクリル酸共重合樹脂よりなる群から選ばれた１以上の樹脂を主成分とする樹脂層とし、中間層を厚さが $10 \sim 40 \mu\text{m}$ であるポリ乳酸系フィルムとし、これらが積層されてなることを特徴とする蓋材である。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

また、本発明の蓋材において、ポリ乳酸系フィルムの少なくとも片面に、金属および／または金属酸化物からなる層を設けたことが好ましい態様である。